

▽ 町連協だより

第 11 号
 平成 14 年 10 月 1 日
 ◆ 発行 ◆
 千歳市町内会
 連絡協議会
 千歳市総合福祉センター
 TEL(0123) 27-2525
 ◆ 印刷 ◆
 道央プリント
 千歳市青葉6丁目1-8
 TEL(0123) 23-5535

千歳市町内会連絡協議会が 平成十四年度定期総会を開催

平成十四年度事業計画、収支予算案 新役員等を承認

千歳市町連協は、去る五月二十五日(土)総合福祉センターに於て、市内七十四名の町内会長が出席し、平成十四年度定期総会を開催しました。

宮尾会長挨拶の後、白樺町内会長高橋登氏を議長に選出、議案審議を行い、鳴海総務部会長、町連協事務局等により提案された平成十三年度事業報告、収支決算報告案を承認、続いて平成十四年度事業計画、収支予算案を慎重審議の末、全会一致で承認しました。

「明るく楽しい、ふれ合いのあるふるさとづくり」をモットーに、町連協各部がこぞつて関係機関や団体と連携を図

り、温もりのある住み良い町内づくりに資する活動を力強く進めることを確認しました。引き続き役員改選に移り、鳴海

選考委員長より選考経過の説明があり、今期限りで退任される宮尾会長の後任に藤原幸雄副会長を選任する等新役員選出案が示され、満場一致でこれを承認し、新たなスタートを切りました。

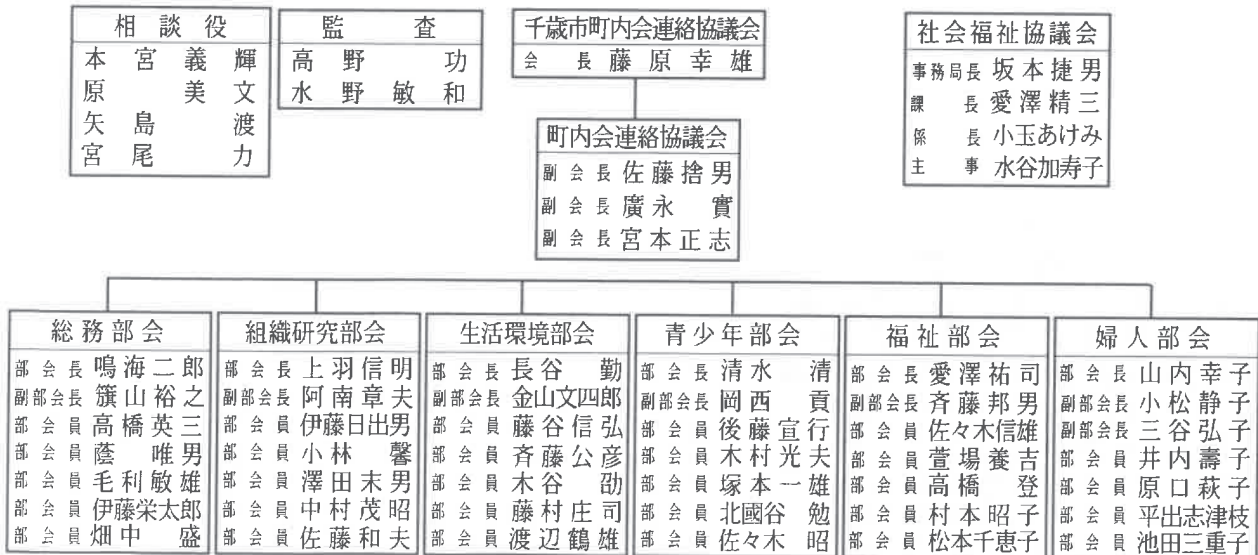
定期総会終了後、場所を別室に移し、

永年町内会活動に功労のあった町内会役員の表彰が行われた後、受賞を祝い祝賀会を開き和やかな雰囲気の中、全日程を終了しました。尚、平成十五年度までの当協議会の組織体制は下図のとおりに編成されました。



(平成14年度町内会連絡協議会総会)

千歳市町内会連絡協議会組織図 (平成14年~15年)



町内会のご紹介

いごども

神輿とともに

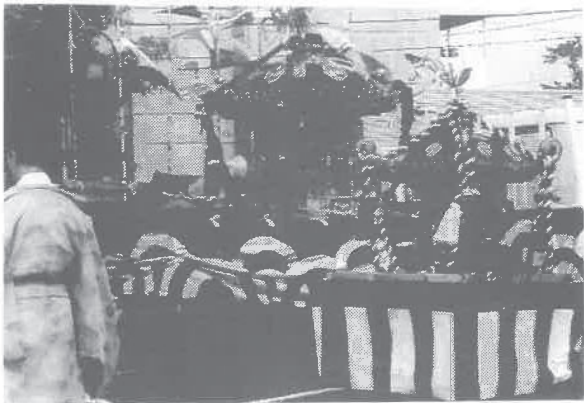
新富西町内会

会 長 吉 成 正 雄

昭和六十二年の九月二日、我が町内に華麗なごども神輿が初めてお目見えしました。それまでは小さな樽神輿を担いでいたのだ。当時の町内会長の大谷喜一氏は何とかして本神輿を我が町内にも迎え入れたいと、又自分の会長就任後、十年目のこの機会にと執念を燃やし町内の資源回収で得た資金を積み立て漸く購入した念願の神輿だった。その大谷会長も今は故人となられたが残された神輿は会館の床の間の正面に安置され毎年の千歳神社の祭礼には子供達に挽かれ町内を練り回っている。今年もその祭りがやってきた。九月一日午後一時町内会館前は自慢の華麗な神輿が引き出され紅白の挽き綱を握った可愛い男女の小学生が出発を待つて並んでいる。皆お揃い

のお祭り法披に豆絞りの鉢巻だ。
 笛や太鼓の音に踊らされうきうき気分が行列が町内を練り歩く。「ピッピッ。ドンドン。ピッピッ。ドンドン」それは子供も大人も女も男も皆祭りに融け込んで見える。

神輿の行列は会館前を出発し町内主要道路を行進、会館前に戻る。あいにく当日は朝から霧雨模様様の天気の中を神輿を挽いて行つた。所要時間約一時間ゆつくりとした行進



であつたが雨中のこともあつて町内だけの巡回できりあげ



る。会館に戻つて子供達にはそれぞれ缶ジュース、お菓子の袋等配つて散会する。翌、二日午後は北新コミュニティセンターに於て千歳神社の神輿渡御に際して町内会長他役員が神輿を挽いて行き子供神輿にお祓いを受けました。

付記

子供神輿について

- 一、購入 昭和六十二年秋
- 二、購入先石川県金沢刑務所
- 三、価格七十五万円
- 四、購入代金は資源回収による益金を数年分溜めてこれに充当しました。

五、現在ではこの程度の神輿は百五十万円でも買えないと言われる。

(月形刑務所談)

六、今では新富西町内会として誇れる財産の一つであると言われる。

ふれあいのある

町内会

富丘一丁目町内会

会 長 鳴 海 一 郎

昭和六十二年、富丘町内会は富丘地区の人口急増により二十年の歴史を閉じました。同年四月、同地区に新しい六つの町内会が誕生しました。

私達の富丘一丁目町内会も二〇世帯で産声を上げました。現在の人口は三三〇世帯で約千人となりました。六十五歳以上の高齢者は一一五名で全体の十一%ですが、これからは超高齢化の時代を迎えますので、今後福祉委員活動をより充実していかなければならないと考えています。

それでは私たちの町内会で実施しております主な行事の内容をご紹介します。行事の

計画にあたっては、できるだけ多くの方が参加しやすいように考慮しております。

一、子供を主にした行事

夏休みに入るとすぐお楽しみ会を行います。内容はゲーム、花火大会、焼肉パーティなどを行います。親や、役員も参加しますので年々参加者が増え今年は一〇〇人を超えました。

二、婦人の行事

九月に札幌方面を中心にして婦人の教養を高めようと体験学習も含めた研修旅行を行つております。また、千寿園や暢寿園へのボランティア活動にも積極的に参加しております。





三、高齢者のための行事
六十五歳以上の方を対象にした敬老一日旅行を支笏湖観光ホテルを会場にして実施しています。また十二月には、七十歳以上の高齢者を市内の大きな宴会場にご招待し昼食会を行っています。

四、一般の会員の行事
毎年正月には一般の会員を対象にした懇親会を実施しています。日頃何かと疎遠になりがちな隣り近所の方々にてきるだけ多く参加いただき心のふれあいを大切にしながら

交流と親睦を深めたいと考え、計画しております。

五、その他
春と秋には町内の一斉清掃をしますが、多くの方の協力があります。また資源回収にも積極的に協力をいただいております。

私たちの町内会は結成以来十六年目という若い町内会です、これからはより以上にお互いに支えあい、たすけあいながら明るい町内会づくりに努力してまいりたいと考えております。

高齢者社会に向けて

住吉二丁目町内会

会長 愛澤 祐 司

昭和四十九年六月に町内会が発足して以来二十八年目を迎えたジェット機飛行直下に位置する地域の町内会です。

この地域が区画整理事業により丁目が完了した昭和四十六年当時は、農地の跡が残っており個人住宅はまばらでした。現在では、都市公園、パチンコ店と駐車場、防衛施設庁買上げ用地など住宅以外の土地が多く点在しております。



住民登録戸数は約一二〇戸余りです、マンションやアパートが隣り合わせております。近年・子育てを終えた方々が多くなり、高齢化になっていくのが実情です。

二十一世紀の日本の社会経済は、人口の高齢化と低成長経済などで特徴づけられております。

物質的な成長ではなく、これまでの蓄積を活かした本当の生活上の豊かさを追求する段階にきていると言われていると見られます。

人口の高齢化は先進国共通であります、日本はその程度とスピードに於て他国を遥かに越えております。

また、家族の機能、形態の急速な変化もあります。

私も、時代にマッチした地域活動をどのように取り組むかなど、町内会の課題も多くあります。当面は、福祉委員、民生委員、関係機関とタイアップして、保険・医療・福祉など学習活動を進めているところです。

日本人の平均寿命が、男性七十八歳、女性は八十五歳に達している今日、「誰もが、住み慣れた地域の中で健やかに、いきいきと自立して暮らすことができる地域社会の実現」に向けて、お互いに自覚と責任ある地域づくりに努めて参りたいと思っております。



各部会だより

組織研究部会の動き

組織研究部会では、七月三日市の防災担当者を招いて部会を開催し、自主防災の組織づくりについて協議しました。部会では、平成九年から自分の町内は自分達で守るという意識と、自主防災の中心は何と言っても町内会であるという考え方から、町連協を中心にした組織づくりを進めてきました。

しかし、まだ課題も多くあり、組織化はあまり進んでいませんでした。そこで、今後はなるべく早く、行政とコミ



協と協議を重ねて、組織づくりを進めたいと考えております。組織のあり方も、町内会を、地域毎にまとめる等、実際に活動しやすい仕組にする必要があると考えております。

組織研究部会では、平成九年度に「自主防災のしおり」を作成して、町連協から発行し町内会の自主防災会づくりの資料をお配りしておりますのでどうぞ参考にして下さい。

なお必要であれば、参考資料が、事務局にありますので、ご利用下さい。

**町内会環境部長等
伊達市視察研修**

生活環境部会

久しぶりの好天に恵まれた七月二十二日、四十七名の参加者に乗せた市の福祉バスは、一路目的地の伊達市へと向いました。途中有珠山西山火口等を見学し、御当地コミュニティセンターにて伊達市まちづくり推進委員の方から推進事業等の説明をお聞きした後、小学校等の施設の花壇や、個人のお宅の花壇等を視察しま

したが、さすがにこのほうの推進事業の先進地だけあって、それぞれすばらしいもので、我々これから施策していく者にとつて大いに参考になる所がありました。



**婦人部会の
活動の様子から**

本年度の活動は、「複雑化した社会の中にあつて婦人部の果たす役割は大きい。地域の輪を広げ必要な知識を身につけつつ仲間を作つて楽しく活動しよう。」を基本的理念とした定期総会からスタートしました。

昨年の事業経過を踏まえ、

千歳市町連協婦人部会



本年度の事業計画を原案通り議決し総会を終了しました。実質的活動として、各町内会婦人部を対象とした交流会が開催され、その中では、各町内会の情報を交換しつつ「主婦感覚を大切にし、無理のない地域づくり」を目指そうという意識の共有がなされました。

**青少年部長等
合同研修会開催
百三十二名が参加**

平成十四年度町内会青少年部長、保護司、民生児童委員等合同研修会が七月六日(土)

午後一時より支笏湖観光ホテルに於て開催されました。本年度研修テーマは、学校週五日制に伴う地域の問題点と今後の課題についてと題し青少年部長等一三二名が参加して保護司会坂本美智子氏、高台町内会会長村上芳男氏、第四区民生委員森岡昇氏よりそれぞれ関連発表があり、引き続き全体会議を行い活発な質疑応答や、意見交換をして午後五時半研修会は有意義に終了しました。

今後町内会が抱える問題点として子ども達が休日に活動できる場所の提供、市内の青



少年活動の実態を把握する必要性等様々な問題点を提起しました。

編集後記



毎回、紙面の充実を合言葉に編集しております。限られたスペースのなかで、できるだけ読みやすいように心がけております。

町連協の行事や、各町内会の行事等もお伝えいたしますので、参考になれば幸いです。毎号とも、原稿をお願いしております町内会長さんは、皆さん快よくお引受けいただいておりますので感謝しております。

予算の関係で、全戸に配布できないのが残念ですが、原稿を戴いた町内会には全戸配布しております。

編集委員

- 鳴海二郎 高橋英三
- 旗山裕之 毛利敏雄
- 蔭 唯男 伊藤栄太郎
- 畑中 盛
- ◎事務局 小玉あけみ
- 水谷加寿子